

TOPIC

1

【Pick Up】今年度の体制 「企業誘致専属ライン」が新設されました！

苫小牧市では、企業様のビジネスをより多角的にサポートするため、担当部署である「企業港湾政策課」において、今年度から以下の2つの専門ラインで業務を展開しております。

➤ 企業GX・港湾・苫東ライン

企業様の脱炭素に向けた事業展開を支援するとともに、苫小牧港管理組合や(株)苫東などの関係機関と連携し、苫小牧港や苫東エリアを最大限ご活用いただくための環境づくりや調整を行っています。

➤ 企業誘致ライン

進出をご検討される企業様をワンストップでサポートいたします。用地探しから進出後のフォローアップまで、企業様の伴走者としてスピード感を持って対応いたします。北海道での拠点設立をご検討の際は、ぜひお気軽にご相談ください。

TOPIC

2

企業立地トピックス

次世代産業の集積地として、苫小牧市には最先端技術を持つ企業様の進出が相次いでいます。直近で本市での事業展開をご決定いただいた注目の3社をご紹介します。

AI Tech Tomakomai 株式会社

苫東エリアにて、総額3,500億円規模となる「AIデータセンター」の建設計画を発表。本市の豊かな資源や冷涼な気候が高く評価されました。併せて「デジタル人材開発センター」の開発も計画され、次世代IT人材の育成拠点としても期待が寄せられています。



※画像はイメージです

株式会社 ゲットワークス

今年4月、美沢エリアにおいてコンテナ型データセンター「美沢の杜AIコンテナパーク」が操業を開始しました。本市の冷涼な気候を活かして高いエネルギー効率を実現し、最新のGPUサーバにも対応。本市の新たなAI産業基盤としてご活用いただいております。



裏面に続く

株式会社 パワーエックス



大型蓄電池メーカーの同社が、植苗エリアに新たな製造拠点「Power Base Hokkaido」を開設します。優れた物流網を活かした事業拡大に加え、「電気運搬船」を活用した苫小牧港への再エネ供給など、本市の脱炭素化の強力なパートナーとしてもご活躍いただきます。

TOPIC 3

日本初となる商業運用へ！

～苫小牧港を活かした「アンモニア供給拠点計画」が国認定を取得～

北海道電力などによる苫小牧港での低炭素アンモニアサプライチェーン構築計画が、国の「拠点整備支援制度」に認定されました。本計画は、国の「価格差支援」に認定された三井物産やIHIの計画とも連携し、2030年度までに年間30～40万トン規模の供給拠点構築を目指すものです。

本市としても、本計画を通じて地域のエネルギー基盤強化と皆様の脱炭素化を推進してまいります。



(画像提供：コスモエンジニアリング株式会社)

TOPIC 4

参加企業を募集を開始します！

～北海道苫小牧市産業フィールド視察ツアー2026～

この度、昨年度に大変好評をいただきました本事業を今年度も開催する運びとなりました。

2年連続となる今回は、半導体を含めた「DX」及び「GX」をテーマに掲げ、次世代産業の波及と、新たなビジネスの広がりを見せる苫小牧エリアのポテンシャルを、ぜひ現地で体感してみませんか？

【開催日】

10月7日（水）～9日（金）

【このツアーで得られるもの】

- ・最先端のビジネス動向を把握
- ・産業フィールドのポテンシャルを肌で感じる現地視察
- ・ビジネスパートナーとの出会い



【詳細はこちら↑】



お問い合わせ先

苫小牧市産業経済部企業政策室企業港湾政策課

TEL：0144-32-6432

MAIL：kigyo@city.tomakomai.Hokkaido.jp